

令和5年度森林環境教育推進事業

曾於市立 岩南小学校

1 学習のねらい

森林・林業における様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人とが共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習、木工活動 ②製材工場見学 ③しいたけ駒打ち

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年6月21日(水)	8:45~12:15	教室	1~6年生	11人	4人	15人
②	令和5年9月29日(金)	10:00~11:00	製材工場	1~6年生	10人	3人	13人
③	令和6年2月8日(木)	8:45~10:25	渡り廊下	1~6年生	10人	1人	11人
合 計 (延べ人数)					31人	8人	39人

5 学習の進め方 (スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	県産材を利用した木工体験を通じて、木のぬくもりや優しさを感じるとともに、資源としての木材がどのようにして作られるのか学習した。	金槌等の道具の取扱を注意指導	振興局 3人
②	地域の大型製材工場を見学し、木材の利活用について学習し、地域における森林・林業・木材産業と自分たちの生活との関係について理解を深めた。	製材工場内の機械や車両に注意	振興局 1人
③	きのこの生態やしいたけの育て方を学習し、クヌギの原木に種駒の打ち込みを実施。接種した原木は、学校内の木陰をシイタケほだ場として伏せ込みを行った。	ドリルや金槌等の道具の取扱を注意指導	振興局 2人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料(リーフレット)、木工工具(金槌等)	
②	資料(リーフレット)	
③	シイタケ原木・種ごま、駒打ち用道具(チョーク、尺棒、ドリル、金槌)	延長コート [®] 、ほだ場の確保

7 ふり返り (担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・日程や活動内容を、学校優先で設定していただいた。
 ・木工活動(図工)、製材工場見学(社会)など、教科の学習と関連した体験活動を行うことができた。
 ・森林学習、木工活動を低学年と高学年に分けて実施するなど、各学年の学習進度に応じた対応をしていただいた。
 ・本棚を作って持ち帰ったり、しいたけができるのを楽しみにしたりと、児童の意欲が高まる活動を提案していただいた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習（低学年）】



【森林学習（高学年）】



【木工活動（高学年）】



【製材工場見学】



【しいたけ駒打ち】



【しいたけ駒打ち】